

NT-proBNP と BNP における左室駆出率(LVEF)との関連強度比較による早期心不全検出に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

日本では高齢化が進んでおり、心不全の患者さんが増えています。心不全は、心臓の働きが弱くなる病気で、早く見つけて進行を防ぐことがとても大切です。

日本循環器学会が作成した診療ガイドラインでは、心臓のポンプ機能を示す「左室駆出率（LVEF）」という数字で心不全を分類します。また、血液検査でわかる「BNP」や「NT-proBNP」という物質も、心不全の早期発見や重症度の判断に役立ちます。

この研究では、BNP と NT-proBNP、どちらの血液検査が心臓の働きの低下を早く予測できるかを調べます。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

研究開始日より心エコー検査が実施されており、且つ同日に BNP 測定があったすべての外来患者

使用する試料・情報

検査日時点の年齢、性別、LVEF、心エコー検査同日の血液検査所見 (BNP、NT-proBNP、eGFR、Glu、HbA1c、TG、HDL-C、LDL-C、ALB、AST、ALT、 γ GT、CRP)、BMI、病名、エンレスト使用の有無、血圧
使用開始予定日：2026 年 12 月 5 日

研究予定期間

2026 年 12 月 5 日～2026 年 6 月 30 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 中央検査部 上島さやか

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 中央検査部 上島さやか

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)